



国見町を訪れた池田町の子どもたちへ町の魅力を伝えました

体験・交流活動編 ～町の紹介・元気をPR

国見ジュニア応援団は、国見町と交流している岩手県平泉町や岐阜県池田町の子どもたちとの相互交流をとおして、国見町の魅力を再発見したり、震災後の国見町の取り組みを理解したりしました。そして、たくさんの人たちに国見町の素晴らしさを伝えました。



園地で平泉町の子どもとモモを堪能 池田町で一緒にモモをPR



ふるさとを学び、そして伝える

Interview 団員の声

平泉町の水かけ神輿に参加したことは、他の町の文化に触れることができた貴重な経験でした。また、自分たちが学んだ国見の良さを伝えることで、町をもっと好きになりました。これからも国見町をずっと好きでいたいです。



秦 歩花さん (小6)



1年間お疲れ様でした!!

産になります。これからの活躍に期待します」とねぎらい、団員に記念品を贈りました。

解団式後は、「活動の振り返りパーティー」が開かれ、これまでの活動をまとめたスライドを見ながら思い出話に花を咲かせました。団員たちは、それぞれに自分自身の確かな成長を実感していました。

1年間の活動をとおして、団員たちは震災からの復興の歩みや町の魅力を力強く発信できる子どもたちに成長していきました。

国 見ジュニア応援団は、国見小学校6年生から県北中学校2年生までの12人の団員が町の歴史や伝統文化、産業、震災復興への取り組みを学び、町の魅力と元気を全国に発信することで、「ふるさとに愛着を持つジュニアリーダー」になることを目的として1年間の活動を行ってきました。

解団式は2月23日に行われ、団長の岡崎忠昭教育長が「町の応援団として1年間、心を込めて活動し、立派に町をPRできました。これからも今回の経験を生かして、さまざまなことにチャレンジしてほしい」とあいさつ。団員を代表して、高橋凜さん（県北中1年）が「ふるさとの歴史や農家の苦勞などを学び、県外へ町の素晴らしさや元気を発信することができました」と述べました。秦歩花さん（国見小6年）が太田久雄町長に町旗を返還しました。太田町長は「活動をおとさずさまざまな人と出会ったことは素晴らしい財

国見の子どもたちが「ふくしまジュニアチャレンジ」銀賞と銅賞を受賞



国見っ子あんぼ柿PR隊



国見ジュニア応援団

「小」中学生まちづくり大賞（ふくしまジュニアチャレンジ）の受賞団体が発表され、アイデア部門で「国見っ子あんぼ柿PR隊（国見小4年生）」が銀賞、活動部門で「国見ジュニア応援団」が銅賞を受賞しました。「ふくしまジュニアチャレンジ」は、復興、地域づくりにつながる子どもたちの優れた取り組みと発想をたたえるために福島民報社が今年度から創設し、県内から133件の応募のうち、49件が入賞しました。

学習編 ～町の産業・歴史・文化を学ぶ

国見ジュニア応援団の活動は“町を知ること”からスタートしました。阿津賀志山防壁などの史跡や道の駅を見学したほか、生産者や共選場で働く人たちに話を聞いて特産のモモについて学びました。今まで気づかなかった町の魅力を発見した団員たちは、その魅力を伝えるため、パネルにまとめました。



池田町での交流活動パネルを作成中



園地で国見のモモを学習

町の歴史めぐり

Interview 団員の声

町の歴史や文化、産業について町の人から学び、県外の人へ伝えることができました。震災の被害状況を知り、復興の手伝いができたと思います。自分の知らなかった国見町について知ることができました。



齋藤 脩眞さん(中1)